

2013 年度前期 専攻教育改善委員会 議事録

1. **開催日時** : 平成 25 年 9 月 27 日 (金) 13:15-15:10
2. **開催場所** : S2 棟 3F 会議室
3. **出席者** : 金利昭, 沼尾達弥, 横木裕宗, 三村信男, 小峯秀雄, 井上涼介, 山田稔, 原田隆郎, 藤田昌史, 村上哲, 平田輝満, 車谷麻緒, 一ノ瀬彩 (順不同, 敬称略)
欠席者 : 呉智深, 桑原祐史, 信岡尚道 (順不同, 敬称略)

1. 構造工学特論 (呉)

欠席 (紙面のみ) 授業記録を回覧し、内容を確認した。

2. 地震工学特論 (井上)

受講生が 1 人であった。授業成立しなかった。

3. 景観設計特論 (小柳)

レポート課題もきちんとやっており特に問題はない。「取止」と記載している学生は実際には「欠試」。

4. 沿岸環境形成工学特論 (横木)

受講者がもう少し減ると授業を進めやすい。

5. 国土空間情報特論 (桑原)

欠席 (紙面のみ) 授業記録を回覧し、内容を確認した。

6. 社会基盤情報処理特論 (原田)

情報処理を土木分野に活用する内容を講義した。

7. 土質基礎工学特論 (村上)

地盤解析に関する数値計算を扱い、講義内容を変更した。授業の 2 回目以降から去年より受講生が少し減った。レポート内容が深まっていなかった。来年は従来の内容に戻すか検討したい。

今回の授業内容で 14 人の学生が最後まで受講した点については注視したい。アンケートの評価も高い。大学院でも基礎力をできるだけあげる必要がある。続けてみるのも良いのでは。

8. 構造物の数値解析法特論 (車谷)

様々な解析方法を講義した。マトリックス解析について概ね理解された。地盤と構造の学生が受講した。

予習・復習する際に技術者の数学のような標準な教科書や問題集などがあると良い。

学科として必要な数学の分野をメッセージとして送る。関連する分野の教員同士でも検討するのはどうか。

9. 土木計画学特論（金）

原発の社会的費用、国土強靱化論、公共事業のあり方に関する書籍をもとにディスカッションを行う講義を3回分追加した。しかし、あまり討論にならない。

大学院における特別研究と特別演習の内容

各研究グループより、別途資料を用いて報告が行われた。

修士1年で、2名ほど連絡がとれなかったり、大学に来られなくなったことが紹介された。

2013 年度前期 学科 FD 研修会 議事録

1. **開催日時** : 平成 25 年 9 月 27 日 (金) 15:10-15:45
2. **開催場所** : S2 棟 3F 会議室
3. **出席者** : 金利昭, 沼尾達弥, 横木裕宗, 三村信男, 小峯秀雄, 井上涼介, 山田稔, 原田隆郎, 藤田昌史, 村上哲, 平田輝満, 車谷麻緒, 一ノ瀬彩 (順不同, 敬称略)
欠席者 : 呉智深, 桑原祐史, 信岡尚道 (順不同, 敬称略)

[話題提供]

車谷先生から、大学院生の数学の学力について話題提供があり、線形代数のミニテストの学生解答資料をもとに下記の通り意見交換を行った。その結果、①～③を教務ワーキングの検討事項として提案された。

- ① 授業のレベルを下げずに、試験が 60 点以上のレベルで合格にする。
- ② 緊張感のある学習環境をつくる。(科目の全体又は個別レベルでの検討)
- ③ 授業時間外で常に学習できるように宿題を出題する。

意見交換の内容

- ・ 学部生の学力のテコ入れ、大学院生の学力の底上げが必要
- ・ 地盤・構造の学生に必要な数学を理解しているか。地盤 微分積分が必要
- ・ 大学院の授業や入試課題にする等、システムに組み込む
- ・ 大学院で、実際の専門分野に合わせた数学の授業を開講するのはどうか
- ・ 修士(工学)の基礎分野として何が必要かを検討する必要がある。
- ・ 学生を勉強させる仕組みをどうするか 合格レベルを引き上げ再試する。
- ・ 卒業研究着手要件をゆるくして、必修の授業も並行して実施するのはどうか。
- ・ 学部全体として、どの段階の数学の理解が必要か
 - 数学の基礎的な概念の体系化を理解する
 - 物理的現象を記述する上でのツールとして数学を理解する
- ・ 数学の必要な学力レベルの確認。
 - 外部評価での 社会的要求 土木技術者試験レベルの確認
 - 全体の教育目標の比重で数学の学力レベルを設定。

以上